

寺報

No.647

令和3年7月

蓮華寺
發行

御聖訓

一々の文字は佛の御魂なれば、
 此經を行せん人をば釈迦如来我御
 眼の如く守り給うべし

『祈祷抄』



(解説)

法華經の文字の一字一字は、ただ単なる文字を書かれたものではありません。

それは、お釈迦様が我々をお救いになる為に現したお姿そのものなのです。

法華經こそが諸經の王であり、お釈迦様の真意を説かれた唯一のお経です。

つまり、法華經なくして仏法はあり得ないのです。日蓮大聖人は、法華經の文字こそが、お釈迦様の魂

そのものであるといわれました。ですから、我々が法華經・お題目を唱える事で、

我々の心の中に宿る仏性が現れ、この身がそのまま仏になるのであると力説されたのでした。

その時、お釈迦様は我々を温かな眼差しを持って守ってくれるのです。

この教えの元、日蓮宗の檀信徒は、疑いのない素直な心で、法華經とお題目を唱え、自らが仏になっていつて欲しいものであります。

仏教はただ仏様の教えというのではなく、仏になる為の教えなのだ、理解しなければなりません。

鬼子母神大祭

七月三日(土)

午後六時半より

法話：日蓮宗青森県青年会々長

青森市野内 妙覚寺住職

工藤 泰輝 上人

*『鬼子母神』様は「家内安全」「身体健全」「子孫繁栄」「安産成就」等を叶えます善神です。

*小さなお子さん、お孫さんをお持ちの方、また出産予定の方は必ずご祈願、ご参拝下さい。

②ご祈祷がありますので、どうか法要の開始時間に合わせてご参拝下さい。

また、法要終了後の「法話」も必ずご聴聞下さい。お願い致します。



鬼子母神

お知らせ

【一般御祈願】・・・千円(読み上げ・お札)

皆様の「家内安全・身体健全等」、また子供さんお孫さんの「発育増進・安産成就等」の御祈願、読み上げをします。

【特別御祈願】・・・二千円(読み上げ・木札)

御祈願の仕方は一般と同じですが、長さ一尺(約三十センチ)の木のお札が付きます。

【一般御法楽】・・・千円(読み上げ・お札)

皆様のお名前を読み上げまして「鬼子母神様」をご法楽(法華経を以て神仏に楽しんで戴き、また自らも徳を積むという意味)します。

【特別御法楽】・・・二千円(読み上げ・お札)

各家庭にお祀りしています「鬼子母神様」の御尊像と掛け軸を、大本堂の御寶前にお祀りし、僧侶全員にて読経・ご祈祷し、お名前も読み上げします。

どうぞご持参下さいますように、お願い致します。尚、当日お参りの出来ない方は、前以てお寺にお預かり下さい。

鬼子母神様

現代は医学の発展の元に、幼児の死亡率が低くなっていますが、以前は死亡率が非常に高く、我が子の無事成長を祈る両親の願いは切実なものだったといえます。

その為に、昔は我が子が順調に育ちますようにと、鬼子母神様に代わりに親となってもらい、子供を預ける「取子」という信仰が盛んに行われていました。

当山でも、数多くの方の子どもを鬼子母神様にお預かりし、毎日発育順調の祈願をしておりました。最近も信仰心の篤い家では、代々続けていきたいという事で、お寺にお願いにきています。

鬼子母神信仰で特に有名なのは、千葉県市川市中山にあり、毎年日蓮宗大荒行堂が開かれます、祈祷根本道場『大本山・法華経寺』です。

ここは、日蓮大聖人が『小松原の御法難』という大難に遭われた時、大聖人の現前にお姿を現わし、その命を救ってくれました鬼子母神様で、その時感得されたお姿を大聖人自らが彫刻され、弟子にその後の信

仰を託されたという鬼のお姿をした『鬼形鬼子母神』様がお祀りされているお寺です。

このように日蓮宗では、鬼子母神様を法華経擁護の善神の代表として代々大切にお祀りしてきました。

当山の中でも特に熱心な檀信徒は、鬼子母神様のお姿(ご神体)や掛け軸などを、ご自宅にお祀りし大切に信仰してきたのです。

また、実際お姿をお祀りしていなくても、日蓮宗の御本尊の『大曼荼羅』には必ず勧請されていますので、我々は知らず知らずに毎日、鬼子母神様に手を合わせて拝んできているのです。

でも中には、先祖代々お祀りしました鬼子母神様を、勝手な理由を付けては「もういりません」などと言いつつ納めたりする人達も最近が増えてきました。

今まで、お子さんお孫さんを守り続け、また家内の安全、身体の健全、因縁罪障の消滅とお力を戴きました恩を我々は決して忘れてはいけません。

どうか蓮華寺の檀信徒の皆様は、日蓮大聖人の教えを良く守り、今後も鬼子母神様を大切にしていって欲しいものです。

残念なお知らせ

昨年開催される予定でしたがコロナ禍の影響で変更されました『日蓮大聖人・御降誕八百年・東北教区祈念法要』は、本年九月五日に当山蓮華寺で開催される事が決定してしまいました。

法要は日蓮宗管長・総長ほか各県所長上人と県内の僧侶を含め開催されますが、各方面からコロナの感染拡大が懸念された結果、檀信徒の参列を見送り関係僧侶のみの法要となりました事をご報告致します。

本来は、僧侶一千名参列の元、当山大本堂を会場に盛大に行われる予定でしたので、誠に残念でなりません。

心からお詫び申し上げます。

この為、檀信徒の皆様には御寶前の須弥壇ほかお厨子の改装、畳の入れ替え、また各施設の補修などいろいろご協力戴きました事に感謝致します。

有り難うございました。

なお法要はYouTubeにより全国にオンラインでの配信となりますので、今後その情報をお知らせしていきますので、よろしくお願い致します。

『位牌壇』の募集!

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせていただきます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも大丈夫です。

◎現在空いています上位の位牌壇に上がりたい方には数がある限り無料でお譲り致します。

ですから、三席から特席にも上がる事が可能です。

詳細は事務所まで!

檀信徒研修会のお知らせ

☆七月二十四日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間・・・午後七時より

場所・・・小本堂(イス席です)

持参品・・・聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

(注)研修会は休まず行いますので、ご参加は各自ご自由に健康管理のもとご参加下さい。

蓮華寺

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに有効に活用させていただきます。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

事務所までお申込み下さい。

『霊神符』を持ちましょう!

最近思えない事象が多発したり、特に子供さん達が悲惨な事件に巻き込まれています。

檀信徒の皆様も「私だけは大丈夫」などという考えはお止めになりまして、どうか素直に毎月の霊神符(お守り)を

肌身離さずお持ちになり、ご自分自身を心身共に守ってもらおうように致しましょう。



盛運祈願会へお参りしましょう

毎月ついたち午後一時からの、お守り（俱生靈神符）を戴く行事を「盛運祈願会」といいます。

ついたちの日が仕事や諸用で忙しいとか、またご遠方の方は仕方ありませんが、是非とも盛運祈願会に参拝してお守りを戴いて下さい。

そして、我々はお守りを戴くだけではなく、御寶前に於きまして御本尊様・日蓮大聖人様・諸天善神・俱生靈神様に

『一ヶ月間どうも有り難うございました。また、今月もよろしくお願い致します。』と、御礼する事が大切なのです。

更に、我々が知らず知らずの間に作って来た罪を、自らが懺悔滅罪し、一心に盛運を祈願して、俱生靈神のご守護をより強くする事も忘れてはいけません。

また、我々の身体はご先祖様より受け継がれたものです。ですから、皆様ご自身の懺悔滅罪だけではなく、先祖の懺悔滅罪そして成仏を願う事も大事な事です。

新たに蓮華寺の檀家を希望する方へ！

新しく『廣布山蓮華寺』の檀家になりたいと希望する方は、特別の手続きなどはありませんので、入檀の誓約書を書いて戴き事務所までお申し込み下さい。

いつでも登録出来ます。その際に献金はなく、当山を維持運営します護持会費（年六千円）のみを納めて戴きます。

また他宗から改宗する場合も、同様ですのでご安心下さい。

日蓮宗に改宗する場合は、必ず戒名を変えて戴きますが、その際も無料で普通戒名を授けております。

しかし、それ以上にご希望がある場合は、お寺にご相談下さい。

ただし、ご本尊（大曼荼羅）・日蓮大聖人のご尊像・過去帳・仏具などの必需品は、各家で実費でそろえて戴きます。

現代は信教の自由が保障されていますので、ご自分の意志で信仰したい宗派を決める事が大事でしょう。

八月

お盆の棚経のお願い

毎年蓮華寺では、お盆の供養の為に棚経を八月の十四日より十六日まで『旧市内』、十七日より二十日までは、皆様からご依頼がありました『新市内』の檀家さんを回っております。

一週間で回れる軒数は、僧侶の人数の関係から限られてしまいます。

特に最近では、市内の環境や道路事情により新市内の檀家が増え、十七日以降の棚経のご依頼が多くなっております。

しかし、十七日からは、お盆中に去くなりました方々の葬儀等も行なう状況から、あまり多くの家庭は回れません。

そこで、当山では棚経を八月一日から回れるようにしております。

どうか、棚経をご希望の方は、お早目にお申し込みの上、日時を決めて戴くようにお願い致します。

なお、例年通りの日時にお伺いする方は、そのままです。

お盆『墓経』のお願い

昨年より、当山ではお盆の墓経を三内霊園で、十三日の【午前六時から午後三時まで】行っていますのでお時間をご確認の上、ご依頼をお願い致します。

『霊断』のおすすめ！

檀信徒の皆様で、日頃から何かお困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお秘密厳守にて、宗旨宗派は問いませんので、お気軽にご相談下さい。

『提灯』の急募！

当山で「鬼子母神大祭」「御会式」「お正月」の際に掲揚します『提灯』（トローラー）を募集致します。作成価格は八千円で、年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ一万円となります。

七月の行事

- 一 日(木) 盛運祈願会 午後一時より
 - ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換日です。
 - ・ 必ずお勤めに参拝し、お守りを戴きましよう。
 - ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
 - ・ 蓮華寺檀信徒は必ずお守りを持ちましよう。



三 日(土) 鬼子母神大祭 午後六時半より

七 日(水) 鬼子母神小祭 朝のお勤め中

十三日(火) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より
 ・ お経 如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み)
 ・ 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
 ・ 日蓮大聖人へのご報恩を忘れず参拝ましよう。

十五日(木) 甲子きのえね【大黒様の日】 朝のお勤め中

二十四日(土) 檀信徒研修会【唱題行】 午後七時より

☆奉仕のお知らせ

三 日(土) 『鬼子母神大祭』のお手伝い 午後三時より
 ・ 教宣部男女

四 日(日) 『鬼子母神大祭』の後片付け 午前十時より
 ・ 教宣部男女

※ 『鬼子母神大祭』は大事事ですので、準備、後片付け等が大変です。

※ 部員の方は必ず、また部員以外の方でも是非ともご奉仕をよろしくお願い致します。

奉仕部長・山田兼補 伝道部長・小野正春
 教宣部長・杉淵昌三

☆『十三日のお勤め』

に参拝ましよう

毎月午後一時より

- 十三日は、日蓮大聖人の大切な月ご命日の日です。
- 「十三日のお勤め」のお経練習用に【CD・カセットテープ・お教本】を事務所にて販売しています。